

《株式会社エフエム東京 第396回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 25 年 3 月 5 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数 7 名(社外 7 名 社内 0 名)

◇出席委員(5名)

青 池 慎 一 委員長	横 森 美 奈 子 副委員長
内 館 牧 子 委員	西 田 善 太 委員
秋 元 康 委員	

◇欠席委員(2名)

渡 辺 貞 夫 委員	香 山 リ カ 委員
------------	------------

◇社側出席者(9名)

富木田 代表取締役社長
唐 島 専務取締役
黒 坂 常務取締役 編成制作局長
石 井 常務取締役
平 取締役 営業局長
藤 取締役 マルチメディア放送事業本部長
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー
高 橋 編成制作局 編成制作部プロデューサー(オブザーバー)
甘 利 編成制作局 編成制作部プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(1名)

長 澤 常勤監査役

【事務担当 延江放送番組審議会事務局長(代行)】

4. 議題: 番組試聴 (約 20分)

クロノス 『ハラスメント ～次はあなたかもしれない』
Blue Ocean 『春のもやもやソーシャル問答』
2013 年 2 月 18 日(月)～22 日(金)

＜議事内容＞

議題1:最近の活動について

◎東京タワー頂上部 新アンテナから放送開始、エリア内受信環境が大幅改善

東京タワー頂上部（地上高 333m／海拔高 351m）に設置した、当社新アンテナからの無線局免許状が交付され、2月11日（月）早朝より放送を開始しました。地上高のアップと新型アンテナの効果によりエリア内の受信環境が大きく改善されました。

また、放送と Web ページで募集したリスナーからの受信環境に関する報告でも、高層ビルの陰など地形的にこれまで難聴取だった地域、ビルや住宅内・電車内、郊外の電波の届きにくい地点など、あらゆるケースにおいて新アンテナの効果が立証されました。

新アンテナからの本放送スタートを記念して、TOKYO FM では、「TOWER OF LOVE」キャンペーンをスタート、以下のような番組および番組連動展開を通じ、東京の心のシンボルである東京タワーから東京中に元気をお届けしています。

◎2月11日（月・祝） 5:00～5:55 特別番組を生放送

記念すべき新アンテナからの最初の放送は、リスナーから事前に募集した「第一声として届けたい言葉・メッセージ・リクエスト曲」を紹介する生放送特別番組。朝ワイド「クロノス」の中西哲生&高橋万里恵が担当。

番組開始前 4:55 からのコールサインは、小林克也氏が担当してくれました。

◎TOKYO FM いい音（ね）！宣言！

TFM リスナーから、新アンテナからの放送を聴いた感想を募集。特設サイトにある「いい音（ね）」ボタンをクリックしてもらい、リスナーの聴取感想をエリアごとに可視化、TOKYO 「いい音（ね）」マップを完成させていく WEB 企画を実施。



◎2月18日（月） 8:30～18:45 TOWER OF LOVE オールリクエストスペシャル

12月にも実施した、リーチ拡大施策であるワイド縦断の10時間オールリクエストワンデー企画。今回は、TOWER OF LOVE キャンペーンのハイライトとして位置づけ、「ラブコネクション」、「シナプス」、「シンクロのシティ」の3番組を、東京タワー1階広場から公開生放送。



◎TOWER OF LOVE キャンペーンソング



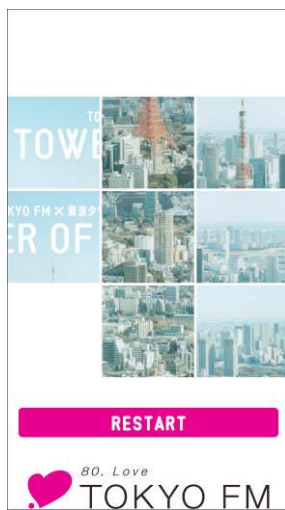
当キャンペーンを音楽でも表現するべく、キャンペーンソングを作成。iTunes が選ぶ 2013 年もっとも活躍が期待できる新人「ニューアーティスト 2013」（*過去にサカナクション、家入レオらを選出）に選ばれた東京芸大出身バンド「パスピエ」（ワーナーミュージック所属）が、新曲『ON THE AIR』を当キャンペーンのために書き下ろし。独占オンエア。

◎東京タワー頂上アンテナ放送記念 特製ベリカードを発行

電波を受信してその無線局に受信報告書を送ると、その確認として発行されるベリカード（受信確認証）。新アンテナからの放送開始を記念して、2月11日以降、受信報告書を送っていただいた方に、期間限定の特製ベリカードを発行。

◎「TOWER OF LOVE」コンセプトアプリ 無料配布開始

キャンペーン連動アプリ「TOWER OF LOVE」を制作。アプリ上の簡単なパズルゲームをクリアすると、TOKYO FM の新アンテナのある東京タワー頂上部から「LOVE」を送信することができ、送信した「LOVE」の数を Twitter でつぶやくことができます。



(対応 OS : Andorid2.2 以上、2/15 より無料配布中)

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見 / 「■」社側説明)

○「いい音(ね)！」や「TOWER OF LOVE」といったネーミングや、ビジュアルのデザインはなかなか良い。

<第 396 回放送番組審議会議事録>

○クリアに聴けるというのは、素晴らしい放送を届けるための基本中の基本、改善ができて本当によかった。ソフトの質も向上させて頑張してほしい。

○今でもベリカードというのはあるんですか？

■以前やっていたものですが、今回特別に復活させました。

議題2: 番組試聴 (約 20 分)

【番組名】 クロノス 追跡 『ハラスメント ～次はあなたかもしれない』
パーソナリティ: 中西哲生、高橋万里恵

Blue Ocean 『春のもやもやソーシャル問答』
パーソナリティ: 住吉美紀

【放送日時】 2013 年 2 月 18 日(月)～22 日(金)
クロノス「追跡」 7:20～7:28 *フルネット
Blue Ocean 8:30～11:00 内 *東京ローカル

【番組概要】

本日お聴きいただくのは、2 月に朝の平日ワイド番組の中で特集した 2 つのテーマのダイジェストです。

**■クロノス 追跡 ～徹底検証 今そこにある危機シリーズ
ハラスメント～次はあなたかもしれない～**

女子柔道選手 15 人が園田代表監督とコーチによる暴力行為・パワハラを告発したニュースをきっかけに、世の中のさまざまな人間関係をとりにくく、「ハラスメント」に注目しました。

「セクハラ」「パワハラ」「モラハラ」をはじめ、「アカハラ (アカデミック・ハラスメント)」「ソーハラ (ソーシャル・ハラスメント)」「スメハラ (スメル・ハラスメント)」「アルハラ (アルコール・ハラスメント)」など様々なハラスメントが溢れている。果たしてあなたの周りは、あなた自身は大丈夫か!? 全国のリスナーの悩みと困惑を募集し、検証しました。

【コメンテーター】 ※敬称略

◆香山リカ 精神科医。立教大学現代心理学部教授。

近著に、モラハラ・パワハラに関する「知らずに他人を傷つける人たち」。

◆中村洗太 臨床心理士。産業カウンセラー。日本オンラインカウンセラー協会 (J O C A) 理事。セクシャルマイノリティのメンタルヘルス研究を行う。

◆藤原家康 弁護士。社団法人自由人権協会理事。
第二東京弁護士会憲法問題検討委員会副委員長

■Blue Ocean 「春のもやもやソーシャル問答」

職場や公共の場所、ソーシャルメディア上などで、誰もが感じる人に対する心理的葛藤。これを「春のもやもや」と題して、特集しました。

あらゆる日常生活の中で、「もやもや」していることをリスナーから募集し、日替わりのコメンテーターにアドバイスをいただきました。

【コメンテーター】 ※敬称略

◆瀬戸内寂聴 作家。1997 年文化功労者、2006 年文化勲章、徳島県徳島市名誉市民の称号を取得。京都市名誉市民。元天台寺住職現名誉住職。比叡山延暦寺禅光坊住職。講演会は 20 代女性で満員となる。

◆志茂田景樹 twitter 人生相談が話題沸騰。人生相談において、真摯かつ心温まる回答もあり、フォロワー数が 24 万人超え。人気ツイートをまとめた本「人って、みな最初は石ころだもの」が昨年出版された。

◆辛酸なめ子 漫画家・コラムニスト。女性向けの最新流行文化を自ら体験し、それに対する違和感を皮肉たっぷりに表現するコラムが人気。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○さほど新しい話が出てこなかった印象だ。「ソーシャルハラスメント」で facebook の上司からの友達申請の件は、すでにどこでも語られていることなので、もっと新しい話題を探すべきだ。ソーシャルメディア上に個人名で発信をしたものをアメリカで 7 年分記録している企業があり、採用活動でそれを買っている企業があるらしい。

例えば、ソーシャルメディアで表現していることが自分の中身を出していることになってしまう怖さと面白さなど、もっとフォーカスする点はあったのではないか。

Blue Ocean は「もやもや」相談をしているわりには、住吉さんの声がキンキンして、仕切りすぎている感じがした。寂聴さんのリスナーのメールへの受け答えが良かった。

○面白く聞いた。「ハラスメント」に関しては、聴いている時間帯によって説得力が違おうと思う。おじさんが良かれと思ってアドバイスしていることも、受け手によっては、「なにみんなの前で言うことないのに」とか、思われているかもしれない。“同じテーマで、朝、昼、夕方、夜、やってみて、それぞれのリスナーの受け取り方がどう違うか試みました”というような仕掛けがあったら面白かったかもしれない。

「セクハラ」に関しては、女性と部屋で二人にならないように必ず職員を同席させるなど

気をつけようがあるが、「パワハラ」をされる側の肌感はわからないから、もっと聞きたかった。「ソーハラ」についても、最近よくある「なりすまし」など、違う角度からの検証があってもよかったと思う。

「もやもや」は、何も解決してなくて、聞きものとして面白かった。ラジオの絶対的な優位性である、放送を聴きながら、リスナーが心の中でつつこみながらかけあう感じがよかった。ただ、例えば寂聴さんへの相談に対しては、もう少し踏み込んで、寂聴さんから「目からウロコ」の発言を引き出すべきだった。

日常聴くラジオとして、音楽が流れているだけではつつこみようがないが、こういう番組だと心の中でツッコみながら、一緒に考えることができるので、良いと思う。

○両方とも面白く聞いた。私は情報遮断したいので、PC も携帯も持っておらず、facebook や twitter がどんなもののかもよくわからないが、便利になると同時に、面倒な世の中になっていくんだなと感じた。

昔、働き始めの頃は「ハラスメント」だらけで、「意味わかる?」「まだ結婚しないの?」などは、朝からシャワーのように言われたものだ。昔の話をしても嫌がられるだけだという話があったが、逆に、昔はどんなハラスメントの中で生きていたのか?という点に着目し、それをうまく構成して、逆に今を考察するような方法もあったのではないか。

「もやもや」も面白かったが、コメンテーターの言葉が相談者の力になるかということ、ならないだろうと思う。住吉さんの声は、つつこみがうまいのに、キャンキャン言うので聞きにくいと思いました。

○試聴パートが断片的で、少し物足りなかった。「ハラスメント」は日常的な話題だったので、違う角度が欲しかった。Blue Ocean は時々聴いているが、午前中のこの時間は、皆さん何かの用をしながら聴いているので、その日常生活の中で聞き流すラジオのトーンとして、とても変わった人選だと感じた。人物としては立派だが、ノリが違う。そこでリスナーの興味を惹きつけるのか、逆に引かれてしまうのか、ややリスクな気がする。

○極めて日常の中の朝のひとつときに聞くものとして、リスナーも自分に照らし合わせながら耳を傾ける時間を提供しているという点で意味のある番組だったと思う。

日常の情景の中で、さりげなく流れるものとしてごく自然に聞けて、発見のある朝のひとつときを過ごせるという意味では、リスナーにとっては良い番組なのではないか。

5. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「JOG LIS RUN GIRLS SUNDAY」

<第 396 回放送番組審議会議事録>

3月31日(日)6:00～7:30放送

- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会を、4月2日(火)に開催することを決めた。

また、青池委員長が今期限りで退任となり、来年度は横森副委員長に委員長を委嘱、新しい副委員長は置かないことを決めた。